

3 事例報告（Bグループ）

『より良い人間関係の構築のために』

（１）事例対象生徒

- ・学科 産業科
- ・障害名、併せ持つ障害及び疾病…自閉症、精神発達遅滞

（２）対象生徒の環境

- ・家庭環境
祖父、父、母、弟の５人家族

（３）対象生徒の実態

① 基本的生活習慣

- ・身辺処理全般については自分で行うことができるが、丁寧さに欠ける部分があるため、職員の確認が必要である。
- ・整理整頓をすることが定着しておらず、物を分類して収納することが難しい。

② 社会性

- ・人との関わりを好んでいるが、周りの人と馴染むことが難しい。
- ・自分の思っていることを直接伝え、相手を傷つけてしまうことがある。
- ・人が話をしている時に自分の興味がある話題になると、割り込んで話し始めることがある。
- ・場面に応じた言葉遣いで話すことが難しいことがある。
- ・自分自身を過大評価しており、自分の非を認めることが難しい。

（４）保護者との連携（家庭での様子、保護者の意向）

- ・保護者と吹奏楽という共通の趣味を通して、よく会話をすることがある。
- ・将来に向けて自立して生活する力を身に付けてほしい。
- ・焦ってくると相手の気持ちを考えた発言が難しいことがあるため、考えて発言をできるようになってほしい。

（５）課題の設定及び指導仮説

① 実態の整理

- ・自分の思いをそのまま相手に伝えてしまい、相手を傷つけてしまうことがある。
- ・人との関わりを好んでいるが、周りの人と馴染むことが難しいことがある。

- ・場の状況に応じた、言葉遣いをするのが難しい。

② 課題の設定

以上の実態から今養版マトリックスの指導観点「コミュニケーション」、指導の柱「相手を受け入れ、自らそこに参加する」より「相手の立場や考え方を理解して受け入れ、関わるができる力を育てる」ことを方針とし、下記の課題を設定することにした。

「より良い人間関係の構築のために」

③ 指導仮説

本生徒は、人との関わりで自分の思っていることを直接伝え、相手を傷つけてしまうことがある。また相手の感情を理解することが難しく、自分の気持ちをうまく言葉にして伝えることが難しい。本生徒も中学校時代より人との関わり方について悩みを抱いていた経緯があり、発言の仕方やコミュニケーションの取り方について改善したいと意欲的である。

現在、不適切な言葉遣いや発言が見られたときには、その都度、場に合った言葉遣いや発言を指導しているが、継続することが難しい。そのため、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れて、周りの人はどのような考えを持っているのか、また、自分の発言によって相手がどのように感じたかを知ることによって、適切なコミュニケーションの取り方を学び、より良い人間関係が構築できると考える。

(6) 指導内容及び方法

① 自分の特性を知る。

- ・ワークシートに取り組み、自分にはどのような特性があるのか理解を深める。
- ・学担、室担、周りの友達に自分はどのように見られているのか意見を聞き入れ、客観的に理解する。

② 場面を作って学習する。

- ・定期的に時間を設け、生徒を数名集め、学習会を実施する。実際の場面を想定し、ロールプレイやコミック会話を用いてコミュニケーションの取り方を学ぶ。
- ・学習会の中で学んだことを日々の生活の中で活かしていくよう指導する。
- ・学習会で活かしたことを発表し、みんなで賞賛し、今後も継続するよう伝えていく。

(7) 指導経過

① 自分の特性を知る。

- ・7月2日に第1回目の学習会を行った。この日のテーマは「自分や周りの人を知ろう！」ということで偏愛マップ(図1)を活用し、自分の特性の理解を深めた。偏愛マップとは1枚の紙に自分の興味・関心のあることを書いてまとめたもので、自分の性質などが一目で分かるものである。これを活用することによって、自分にはどのような特性があるのか、また他

の人とはどのような共通点があるのかを知ることができる。職員の偏愛マップを見本に本生徒は自分のことを適切に分析し、アピールしたいことを多様を書くことができていた。その後、3分程度で偏愛マップを用いて自己紹介を行ったが、自分の興味・関心のあることを一方的に知ってほしいという気持ちが強くあり、周りの反応を気にすることなく自分本位に話してしまう様子が見られた。最後に自分の特性を理解した上で、周りの人の目には自分の姿はどのように写っているのか、周りの人に答えてもらうワークシートを配布した。(図2)

② 場面を作って学習する。

- ・7月14日に第2回目の学習会を行った。場面に応じた言語的コミュニケーションスキルで寄宿舎生活で「こんな時はどうする？」というテーマでロールプレイを行った。最初はこちらが提示した内容を理解することに時間を要したが、内容を噛み砕き説明すると、ロールプレイにならずに一方的な発言が見られた。(図3)
- ・8月20日に第3回目の学習会を行った。内容はコミック会話を活用し、絵を見てどのような場面であるか、またどのように返答したら良いのか吹き出しにコメントを記入させた。本生徒はイラストを見てその時の人の気持ちや現状を読み取ることはできたが、自分の思うままに発言したり、口調が厳しいところがあり、コミュニケーションスキルを考えたときにやや課題が残った。
- ・9月17日に第4回目の学習会を行った。表情から感情を読み取るというテーマであった。無表情、微笑、笑顔、不機嫌、怒り、困惑、不安、泣くの表情の写真を見せ、どんな感情を持っているかを答えた。また、顔と表情の気持ちというプリントの記入を行った。本生徒の様子として、顔の表情から気持ちを読み取ることはできるが、「空気を読むことが難しい」との発言があった。自分が発言した後に、相手の表情が変わるので「まずいことを言ってしまった。」と思ってしまうと言っていた。

上記のことから、本生徒は絵や写真を見て状況を考えたり、適切な返答を発言することはできるが、実際の場面では自分の思ったことをすぐ口に出したり、その場の雰囲気を読み取ることが難しいということが分かった。今後の学習会は4回設定されているが、実際の日常生活でよく見られる場面を想定した、ロールプレイなどを行っていきたいと考える。

- ・10月30日に第5回目の学習会を行った。あったか言葉とチクチク言葉について、KJ法を用いてそれぞれあげてもらった。時間はかかったが、あったか言葉は「ありがとう」「頑張れ」チクチク言葉は「うぜえ」「嫌い」などと記入し、それぞれ5、6個あげることができた。自分はあったか言葉とチクチク言葉どちらを使うことが多い？という質問に対し、チクチク言葉と答えた。また、言葉はあったか言葉でも言葉遣いが悪かったり、厳しい口調になるとチクチク言葉になってしまうことを伝え、言葉遣いを直したいという発言があった。(図4、図5)
- ・11月12日に第6回目の学習会を行った。「きっかけことばを上手に使おう」をテーマにロールプレイを行った。ペアになり行ったが、基本的な相手とのやりとりはできていた。ロールプレイの内容で体調不良の生徒が先生に早退することを伝えるという場面があり、本生徒は先生役をしたが、「お大事に。」という言葉が出てこなかった。体調の悪い人を気遣う「お大事に。」という言葉を書いてあげられると、思いやりの気持ちがある人だと思われることなどアドバイスすると、納得して聞いていた。(図6)
- ・12月11日に第7回目の学習会を行った。友達とケンカをしてしまった時にどのタイミングで謝ったら良いのか、それは謝る必要があるのか、ペアになってロールプレイをしている。本生徒は謝らなければならない場面と謝る必要はない場面を的確に分析して記入していた。ペアでの話し合いで違う意見になると相手を気遣いながらも自分の意見を主張したり、同調

したりする様子が見られ良い雰囲気だった。また、怒りの表現方法についても良い方法と良くない方法を自分なりに考え、答えている。自分がうまくいかないと感じるところは友人関係だと話す、悩みや怒りを溜め込まないためには好きなことをして気持ちを切り替えたり、誰かに話を聞いてもらおうと答えられた。(図7、図8)

- ・1月21日に第8回目の学習会を行った。学習会のまとめの時間になる。これまで自分の課題や言葉の使い方、場面に応じたコミュニケーションの使い分けなどについて学習してきたが、実際に課題に直面したときに相談できる人はいるのか、相談できる人とはどういう人なのか、信頼関係とはどういうものか話し合っている。本生徒は自分の課題をよく理解するまでに至り、相談できる相手もたくさん挙げることができた。また信頼できる人とは「きちんと話を聞いてくれる人」「口が堅い人」などと記入し、職員が話す信頼関係を築く方法を納得して聞いていた。卒業後、何か問題が起こったときに相談できる相手がたくさんいると助かること、相談ができる信頼関係を築くためにはコミュニケーションの中から得る人間関係が大切だということ話している。これまで学習してきた良好な人間関係を築く方法を忘れず、時折、学習のプリントやノートを見返して振り返る時間を作るようにと話して終了した。(図9)

(8) 結果及び考察

① 自分の特性を知る。

- ・偏愛マップを用いて自己紹介を行うことや、周りから見た自分というワークシートを使うことによって自分の長所や短所を再確認し、自己理解を深めることができた。

② 場面を作って、学習をする。

- ・定期的に時間を設け、学習会を行ってきた。コミック会話や相手の表情を見て、相手の気持ちを考えるなどといった、視覚的な情報を読み取り答えることは適切な回答をすることができた。実際の場面を想定したロールプレイでは最初は恥ずかしがっていたが、回数を重ねていくうちに、その場に合った適切な会話や態度をとることができるようになった。勉強会で学んだことを日々の生活の中で生かすよう指導を行ってきた。友達との関わりの中で気を付けようとする場面も見られたが、その場の雰囲気や気持ちが高揚した時に、その場に適さない発言が見られた。

今回の事例研究は、本生徒が人とのコミュニケーションの取り方に課題を抱えていることから、「自己理解」「コミュニケーション」の2点に絞り、より良い人間関係の構築のための指導を行ってきた。自己理解では自分の長所やアピールポイントを再確認することができ、本生徒の自己肯定感につながったと感じる。また他者から受けた評価を受け入れることで、課題解決に向けて取り組む姿勢が見受けられ、今回の学習会へ意欲的に参加する様子も見られた。学習会の中では主にロールプレイやコミック会話を用いて学習を進めてきた。学習会の中では適切な関わり方をすることができても、実際の生活の中ではその場に適さない発言が見られることもあった。しかし、事例研究を始めた当初よりも相手の気持ちを考えた言動は増えてきている。今回の学習で学んだ知識を生かして、今後も日々の生活の中で活かしていけるような指導を行っていく。

好きなもの
 特撮(スーパー戦隊、仮面ライダー、Ultraman)
 笑5 ~ ~~笑5~~
 テレテレテンテンテン
 ・ファイターズ!!
 ・吹奏楽一番!!

好きな動物
 ・犬~!
 ・ねこ~!
 ・のほほんわんわん

好きな食べ物
 ・ほとんて!!
 ・リンゴ!!
 ・さいせんのなみ
 ・月をいたい
 ・しらがうてゐるわー

好きなアニメ
 [Redacted]

出身地
 [Redacted]

好きなフランクフルト
 1. ショーパンとジャズピアノ!!
 2. ヤマハのピアノ!!
 3. 大人っぽいセーラー服!!

好きな曲
 [Redacted]

性格
 ・おおさは
 ・いたすら大好き!!
 ・おはしくさい...
 ・結構二重人格...
 ・変人

特技
 ・楽器を吹く事!! (クラリネット)
 ・声の響き・音域を自由自在に使える!
 ・牛乳一気飲み ~!!
 MILK

私の星座
 ・虫平会!! 第
 ・男おじりかな...

の
 偏愛マニア

私の前世...
 カビ巴拉 ~

私のまわりであった事!!
 ・ひからびたサンダーボルトの残骸を毎日みてた
 (いざ)
 ・いじをキルトでふりつけた友人がいた!!
 ・かみさんが階段から落ちた!!

クラリネット

好きな曲でスロウ
 1. 吹奏楽関係
 2. ポカホン
 3. 山

休日の過ごし方
 ・ゴロゴロ ~
 ・ゲームとTV
 ・たまに楽器吹く
 ・どこか散歩 ~
 その他色々

毎(に)月サP

あなたから見た私ってどんな子？



_____に聞いてみました！

明るくて、おもしろい！
かんぱりやさんできょう面！

_____に聞いてみました！

明るくて元気！
ハキハキと受け答えすることができる。
きまり・ルールを守ろうとする
クラリネットがとっても上手！

_____に聞いてみました！

元気で、おちょこちょい
直してほしい所が
男言葉 話にのってほしい

図 2

こんな時どうする？



1 テレビ (pc) が見たいけど、他の人が見てる時はなんて言っているかな？

あとで見てもいい？

2 自分の洗濯が終わりました。どうしていますか？

洗たく物を取り、水たらし DO ~ 洗たくしてあげるよ！

3 友達に遊びにさそわれたけど、あんまり気が進まないな……。どう断っている？

ごめん、また今度でいい？

4 手伝って欲しいことがある時、なんて言っているかな？

ごめん、ちょっと手伝ってくれるか？

*今の自分を振り返って書いてみてね！！



図 3

【あったか言葉】

○相手に言われてうれしくなる、やる気が出る

ような言葉

↓

相手をうれしくさせる

・あいかわどう

・大丈夫

・がんばれ！

・一緒にやろう？

などなど…



【チクチク言葉】

・相手に言われて嫌な気持ちになる言葉

↓

時として相手を傷つけることがある言葉

・うざい

・キエい

・お前

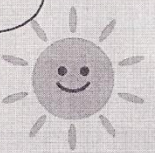
・○○しろよ！

などなど…



図 4

あったか言葉



チクチク
言葉

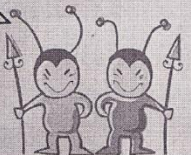


図 5